

インフラメンテナンス国民会議・第1回市民参画フォーラム

—協働コーディネータの知識と技を身につけよう—

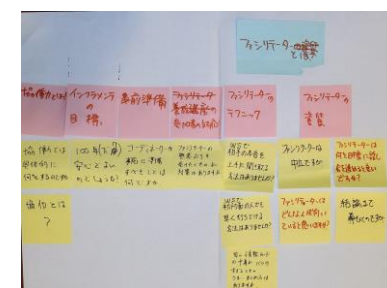
第1回フォーラムでは、長年コーディネータ育成に携わってきた講師の指導により、各地域で市民と行政の協働を促進することができる協働コーディネータの基本を学びました。

開催概要

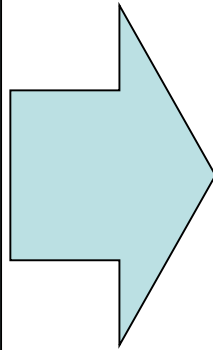
- ・ 日 時: 2017年3月28日(火) 14:00~17:00
- ・ 場 所: 中央合同庁舎3号館4階総合政策局局議室
- ・ 出席者: 28名(民間会社: 20名、NPO: 6名、国交省: 2名)
- ・ 講 師: 世古一穂(NPO研修・情報センター代表理事、元金沢大学大学院教授)
- ・ 形 式: ワークショップ形式(5グループ)
- ・ 趣 旨: 身近なところからワークショップや合意形成の課題を見つける視点、視野を持ち、持続可能な社会をつくるために必要な協働コーディネータの知識と技能を身につける。

内容

- ・ 先ずアイスブレイキングにより初対面の緊張をほぐし、グループ編成を行った。
- ・ グループワークの最初のテーマは「Wish Poem」であった。インフラメンテナンスの望ましいイメージについて、各メンバーが1行の詩を作成し、次にチームで各メンバーの詩を繋ぎ合せて一つの詩を完成させた。作業を通じてメンバー間で、課題の抽出、数回の合意形成、情報共有を行うことができた。
- ・ 二番目のテーマでは、ワークショップやファシリテーターに関する疑問点をチームごとにまとめた。写真のように、階層程度に構造化することがポイントである。構造化の作業を通じて他のメンバーの考えを理解し合意することができ、チームの考えをワークシートにわかりやすく表現することができた。
- ・ 世古講師から、「参加のデザイン」「協働コーディネーター・ファシリテーター」「市民参加の8つのはしご」などについて具体的な説明を受けた。
- ・ フォーラムを受講して、ワークショップの進め方やファシリテーター・協働コーディネータの役割について、概要を理解することができた。



各チームで個人シートを繋ぎ合わせると
一つにデザインになる(合意形成へのステップ)



人もインフラも
日本の原風景

わたしの町
じいちゃんばあちゃんを楽しく
守り
いっしょに
インフラメンテができる町だといいな!

わたしの町
歴史をふまえた
インフラメンテが
できる町だといいな。

私の町
景観を生きる
インフラメンテができる町だといいな!

私の町
わきあいあいと
インフラメンテができる町
だといいな。

私のまち
皆が納得できる
インフラメンテができる
町だといいな。

わたしの町
地域のキズナも育む
インフラメンテができる町
だといいな。